

## 第102回臨時大会報告（3月9日）

臨時大会は予定通り開催され、

全議案が承認され、ストライキ権も確立しました。

### 岩井委員長挨拶の概要：

皆さんご苦労様です。業務が忙しく代議員を選出できない分会がいくつかありました。年末に行った春闘アンケートで、超勤30時間以上という回答が4割あった。そのようなことはこれまでに記憶がない。地震後の対応で仕事が忙しい。人員を福島対応にとられている。

原発事故1年になろうとしている。住民の方からの依頼で多くの講演を行っている。私だけでも県内だけで35回になる。事故の後、政府や学会を信用できなくなっている人が多い。原発なくせという人が、7割8割になっている。すぐに信頼が戻ることはないだろう。機構自身大きく変化しつつある。研究部分も、拠点に福島対応部隊を作るが、若い人も福島対応が本務になり、その先がどうなるか不安が出ている。先行きが見えていない。

施設の維持にも不安がある。事務ビルではないので、電源を切って鍵をかけておけばよいのではない。9掛けの上に6掛けなどと研究費も減らされている。

組織問題：文科省関連の8機関の統合が言われたが、すぐ否定されて、5法人統合になった。文科省は困り込みしたかったようだが、宇宙と原子力関連は別扱いにすることになった。原子力関係機関の見直しでは、民主党：馬淵議員の研究会は、改組をいつている。原子力部分を極端に狭くする案だが、これも先行きどうなるかわからない。

原子力規制体制の見直しについては、民主党が環境省の外局にする案であるが、外局はおかしい、「権限の大きな行政委員会にしろ」と自民党が主張している。共産党も以前からそのようにいつていた。いづれにしても、原子力機構との関係がどうなるかも見えていない。

給与削減問題：国家公務員については、今年度の4月に遡り人事院勧告を実施。（これは平均マイナス0.23%）次の4月から、さらに削減を追加して、平均マイナス7.8%の削減を実施する法律が成立した。国公労連は「労基法による減給処分の最大幅10%に達する削減をするのは、重大な労働基本権侵害だ」と闘争する構え。独立行政法人のわれわれの給与は法律で決まるのではないが、ほかの独立行政法人を見ると、法人ごとに対応はばらばら。レセプト審査の法人などは、人件費が国の金でないので、この削減はしないとしている。金融関係の法人は一律、-7.8%の提案をしてきている。原子力機構では、使用者側もやりたくは無いが、政府の要請を無視は出来ないだろう。しかし、機構には削減を言える理屈が無い。この削減、法律は2年間限りだが、2年で終わるとも思えない。すでに財務大臣が2年後の継続に言及している。

国家公務員の退職金も高いと言う調査が発表されている。2~3年前の200万円安いという状態が、今400万円高いに変わった。民間の退職金が下がったということ。

さらに健康保険の負担金増加、これも対する手がない。増加分は、老人保健関係に拠出されるもの。職員住宅の駐車場、料金問題：「緊急時対応にかかわるものは無料としろ」という労組の主張が通った。一方、国家公務員では、住宅・寮なども問題にされている。国は、

住宅・寮は仕事のためだけに用意するとしていた。僻地、緊急対応、国会対応、転勤族、そこに居なければの灯台などだけに住宅を提供するとしていた。原子力機構は、厚生の一環だが、国家公務員はそうではなかった。原子力機構では、別のものなのだが、今の時世、どのように圧力がかかるか油断できない。

組合の組織問題、若い人に声をかけて組合員を増やしたい。組合は、保険のようなもの、保険は何かある前に入らなければならないが、組合は、後からでも役に立つ。もちろん始めから入っているほうがよい。

われわれ、公務の仲間で、法務局の要員1400人が職を失う。抵抗している人たちを支援している。支援のはがき、賛同できればよろしく。闘争が長引き、生活が成り立たない状況になりつつある。行き過ぎた市場化などで、公務の場にも低賃金労働が広がっている。支援したい。

### 大会で出た質問や意見：

質問：給与削減に関して、2年間給与表が変われば、退職金などに影響があるが、どのようにやるのか？

答弁（委員長）：7級10%、以下段階的に8%、5%と引かれる。給与表のつなぎ部分で、上下の級で金額の逆転が出るが、国家公務員は無視する。一時金は本来の表で算出し、次に一律9.77%減らす。給与の調整として、今年度の人勘分1年を次の6月に取られる。

一方、われわれの原子力機構には、後から取る合理的な手段が無い。削減されると扱いに困るものもある、健康保険組合、年金の財政、本給に連動しているいろいろなもの。退職金については、民間はリーマンショック以降ガタ減りだった。人事院勧告もこの先2年間でどれだけ下がるか懸念される。

国民生活金融公庫では一律7.8%削減の提案があった。総務省が各省庁に、配下の独立行政法人に「国家公務員と同様の削減を要請しろ」という趣旨の要請分を出した。「要請」は「強制」と読むのだそうだ。われわれに近いところでは、理研が先行して動いている。年俸制の職員が2千数百人居るので、3月中にまとめたいとして、早く動いている。削減が大きいので、ローンなど、生活設計が狂う例もあるだろう。

質問：連合は交渉権とセットで合意したが、交渉権の話が無いと言うことなら合意してないと言うことでは？

答弁（委員長）：「合意」はしていない。政労連（連合系）では、傘下の組合に、「削減の文書を受け取るな」という指示を出したと聞いている。しかし、大きな闘争は組んでいない。我々が属する公務労組連絡会などは、国会前座り込みなどを行った。原研労から書記長も行った。連合サイドのそのような行動の話は聞いていない。

この削減を行うと、税収が減るといって経済学者がほとんど、ある評価では3000億円の減収になるといつている。世の中の全体が、賃下げのスパイラルに入ることになる。自分たちの給与だけの問題ではない。機構に関しては、どんな提案が出てくるかは、わからない。こちらは引き換えになるものはないと思っているので、姑息な取引はしないつもりだ。

代議員：分会での要望、スト権を確立して、それを行使することも対応として考えてくれ。

### < 住宅の駐車場 >

質問：住宅・寮の駐車場料金、2台目は取られますか？

**答弁(委員長)：** 緊急対応が必要という事を強く言ってきた。それに答えてきたので、2台目以降を取ることに賛成は出来ないとしても強硬に反対は出来ない。

大洗は、駐車場を整備して、番号までつけられた、すべての住宅について2台ずつある。

#### < 原子力を考える運動 >

**代議員：** 今後の展開はどういう予定か。定例的に集まり議論を詰めていったらよいのではないか。

**答弁(書記長)：** 続けます。「定例的に集まりを持っては」という意見は、そのような方向で考えます。

**質問：** BWR ベントフィルター問題について情報があつたら知りたい。

**答弁(委員長)：** 敦賀1号基は、ベント配管自体まだ無い。ヨーロッパはシビアアクシデントに力を入れてきた。ベント配管、ベントフィルターもある。電気事業連合会は、ベントフィルターをつけると言っているが、再稼働問題と別だとも言っている。国は、義務化すると言っているが、まだ進んでいない。PWRにもつける話があるが、必ずしも同じではないという説もある。世界的にはPWRが多くなっている。

**委員長：** 講演してきた経験で感じることは、「こんな風にしたらよいでしょう」とか言っても、原子力に信用がなくなりすぎて改善提案を聞いてくれる雰囲気が無い。でも、それがあんなら、提案するのもわれわれの務めと考えている。組合員の中にも、「原子力はやめたら」という意見もある。

#### < 福島対応関連 >

**委員長：** 福島対応関連で、周りの人の状況はわかりませんか？多くの人が出張扱いでホテル。また出張旅費がなかなか出ず、当面の負担が大変とか。また、きちんと、兼務割合や、仕事の内容、出張の日数など言われずに行かされたとかの話も聞いている。何かあつたら、言ってください。「行きたくない」とかも含め、ただし辞令が出てしまえば、止めづらいが、打診段階なら、組合として動けることがある場合もある。

**代議員：** 「事情あれば、言って下さい」と一応聞かれた。事情が無ければ断れそうも無かつたけど。

**代議員：** 福島対応 兼務で行っているが、交通費を立て替えているのになかなか振り込まれない。

組合としてもっと早く出すように言って下さい。

水郡線でいく人、早いのは東京へ出て新幹線だが、それだと自腹になる。

**代議員：** 交通費の支給が遅れる件は、単純に事務処理が追いついていないと聞きます。

**代議員：** なら人を増やせ、大体の金額がわかっているなら、先にある程度払うとか手を打ってほしい。

**代議員：** 東京事務所など、雑然としていて落ち着いて何かを考えられるような環境で無かつた。

**委員長：** 事務屋さんが足りないこともある。臨時雇いでも増やす必要があるだろう。

**委員長：** 福島対応組織、拠点につけるといいうが、組織がまったく見えていない。予算もわからない。若干「焼け太り」を狙っている部隊もある。そういうのは無駄だ。人が抜かれて仕事に無理があれば組合に言って下さい。那珂研の変化は？

那珂支部の代議員： 改造は進める、プロジェクトは少し延びるといわれている。

**委員長：** 高崎研は大きな影響は無いような... 県庁に派遣されるという人も居たが。

#### < 春闘要求書関連 >

**代議員：** 通勤手当 要求案の「徒歩通勤についても、自動車通勤に準じて払え」はどういう意味か？

**答弁(賃金対策部)：** 荒谷台住宅が支払い距離ぎりぎりであつたときのなごり、今はいらぬかもしれない。執行委員会で検討します。

#### 採決など

**1号議案 中間総括と運動方針：** 反対 0、 保留 0、 賛成 18 で成立

**2号議案 ストライキ権投票：** 反対票 0、 保留・無効票 0、 賛成票 19 成立

**大会決議案：** 拍手で確認、採択

#### 大会スローガン：

一部修正、削除などして以下のスローガンを拍手多数で採択

採択された大会スローガン

一、原子力平和利用三原則を厳守させよう

一、憲法違反の疑いがある給与削減に反対しよう

一、国民不在の消費税などの増税に反対しよう

一、組合の存在意義を語り、組織強化を図りつつ活力ある労働組合をつくろう

一、福島原発事故を正面から見つめ、国民の負託に応えていこう

一、増税の露払いの役目となるような独法改革を許さず、国民や労働者の利益となるような見直しをさせよう

一、福島原発事故対応などによる業務の見直しや人事異動は、個人の同意を尊重させよう

最後に 団結ガンバロウで閉会しました。

東海村村長 村上 達也氏 講演会のお知らせ：

「福島原発事故後の社会をかんがえる」

3月25日(日) 14:00開演—16:00

場所：那珂市中央公民館ホール 資料代：500円

主催：茨城の人と環境を考える会議

チケットを幾枚か組合事務所で預かっています。希望の方は連絡ください。

<会場管理者から、収容人員を超えないように強く要請されており、事前登録制になっています。チケットがないと、当日入れない可能性があります。>

「東海第2原発を再稼働せずに、廃炉しては」と提案する村上村長の話聞いてみましょう。